

ゆずレター 国会報告 国会初質問号

ゆのき

＝ 柚木みちよし議員、国会にて初質問 ＝

10月12日(水)柚木みちよし議員は、厚生労働委員会にて初質問に立ちました。フリーター・ニート(注1)問題について30分質問しました。先輩議員からも「いい質問だった」という評判を受けました。



フリーター対策について大臣に質す
柚木議員(第16委員室)

フリーターは昨年、全国で213万人、ニートは64万人。柚木みちよし議員は、景気回復が報じられる中で、企業で正社員が増えていない現状を指摘するとともに、フリーター・パート労働者の待遇改善への取り組みを政府に求めました。岡山県内でも有効求人倍率が1.27倍となり、求人が増加傾向にあります。1.27倍のうち約3分の1がフリーター・パートの短期労働者です。

厚生労働省中野副大臣は、柚木みちよし議員の見解を受けて、正社員とフリーター・パート労働者の待遇のバランスをはかること、フリーター・パート労働者を正社員に採用する政策を今後もひろめていくと答えました。

柚木みちよし議員は、学校教育での職業教育の必要性を指摘。フリーター・ニートの若者を増やさないように、中学校などで行われている職場体験を拡大するように求めました。文部科学省の審議官も、小・中・高校を通じたキャリア教育実践プロジェクトを今後も進めていく考えを答えました。

さらに、柚木みちよし議員は、フリーター・ニート対策を進めるには地域の民生委員や保健所などとの連携も大事だと指摘しました。尾辻厚生労働大臣は、柚木議員の考えに同意し、特にニートの若者と一対一の対応を進めるために、さまざまな機会をとらえてアピールしていきたいと答えました。

柚木みちよし議員は、地元の民生委員さんや児童委員さんたちと対話する機会を持ち、地元のフリーターやニートの方に対する取り組みについて共に考えを深める予定です。

(注1)ニートはもともと英語のNEETで、無職で学校も職業訓練にも通っていない若い人たちを指します。わが国でニートといった場合には、15歳から34歳の無職の男女のうち、結婚も通学もフリーターもしていない人をさします。

通常定価1部100円(消費税込み)年間購読料3,000円(送料含む)

平成9年4月25日 第3種郵便物認可

The Democratic Party of Japan

民主
PRESS MINSHU

号 外

民主党プレス民主編集部
〒100-1014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代)

民主党岡山県第4区総支部
〒710-0833
岡山県倉敷市西中新田548
電話 086-430-2355
FAX 086-430-2266
電子メール yunoki@yuzu.jp
ホームページ <http://www.yuzu.jp/>